

日本学術会議政治学委員会政治過程分科会（第24期・第4回）

出席者：石上泰州、内山融、小野耕二、河野武司、小林良彰、谷口尚子、堤英敬、西川伸一
（敬称略、五十音順）以上、8名。

議題

（1）前回会議記録を確認した。

（2）本日開催の公開シンポジウムについて、以下のとおり確認した。

【タイムスケジュール】

- 14:00 開会あいさつ・趣旨説明（西川）
- 14:05 高安報告
- 14:30 近藤報告
- 14:55 内山報告
- 15:20 休憩
- 15:30 小林コメント
- 15:45 猪股コメント
- 16:00 コメントに対する各報告者のリプライ（各10分）
- 16:30 フロアからの質問へのリプライ
- 16:55 閉会あいさつ（西川）

（3）今後の分科会運営について

- ①『学術の動向』2019年3月号の特集2として「高等学校での主権者教育はどうあるべきか」が組まれることが案内された。執筆者は河野、谷口、田宮（都選管）、西川。各5000字程度。原稿提出締切りは2019年1月21日。
- ②来年度の主権者教育授業について。実施するかどうか。実施する場合、明治高校で継続すべきか、都立府中東高校に変更すべきかを検討した。については来年度も実施し、まず都立府中東高校に打診すること、それに関する進め方は委員長に一任することが了承された。

（4）その他

- ①次回分科会開催日時（案）：2019年4月2日（火）18時～19時。会場は明治大学駿河台キャンパス リバティタワー21階・政治経済学部総合政策研究所
- ②その他 なし

以上
（文責：谷口）